

日本原子力発電 東海第二発電所 原子炉建屋地下1階における 溶接用ケーブル（接地線）からの発火に係る立入調査結果について

令和7年5月30日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和7年5月30日に日本原子力発電(株)東海第二発電所の原子炉建屋地下1階において溶接用ケーブル（接地線）から発火したことについて、県は、同日、東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

1 実施日時

令和7年5月30日（金） 14時00分～16時00分

2 実施者

県、東海村

3 立入調査結果

以下のことについて、聞き取り及び現場調査で確認した。また、発火した溶接用ケーブル（接地線）の現物を確認した。

○ 環境影響

- ・ 火災事象発生前後におけるモニタリングポスト等の値に異常がなく、周辺環境への影響は認められない。

○ 施設等への影響

- ・ 発火した溶接用ケーブル（接地線）は、管理区域内に設置されたものであるが、仮設の工事用資機材であり、原子力施設への影響はない。
- ・ 本火災事象は、初期消火により消火されており、周辺の設備、建屋への影響は確認されていない。

○ 現在の措置状況

- ・ 火災が発生した溶接機は使用を停止し、電源を遮断する措置が取られている。

4 要請事項

立入調査後、以下のとおり要請を行った。

- ・ 早急に原因究明や再発防止対策の検討を進め、進捗について適宜報告すること。

5 今後の予定

原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を受け、必要に応じて立入調査等に対応状況を確認していく。